



# シンフォニー



十四山西部小学校 第6学年 学年通信

令和2年3月19日(木) 第16号

## ご卒業おめでとうございます！



とうとう、本日、卒業の日を迎えました。

前回のお便りは、「巣立ちの会」当日の発行でした。

バイキング給食を大勢で楽しく食べ、「巣立ちの会」では子どもたちと一緒にクイズなどを楽しんでいただき、懇談会では最後のご挨拶をさせていただきました。遅くなりましたが、改めて、大勢の保護者の方にご参加・ご出席いただきありがとうございました。まさか翌日を最後に、子どもたちに会えなくなるとは夢にも思わず、楽しい一日を過ごすことができました。

新型コロナウイルスの感染予防のため、突然の臨時休業となり、本来なら最後のまとめをし、卒業式に向けて様々な練習や準備もしていくはずの大切な13日間がなくなってしまいました。私自身、悲しく寂しい期間を過ごしましたが、子どもたちやご家族の皆様はどのように過ごされたでしょうか。時折、電話口で聞く子どもたちの声は、明るく屈託のないもので、声を聞くたびに安心し、元気をもらっていました。このお便りを書きながら、どうか卒業式当日は全員そろって元気な顔を見せてほしいと、願わずにはられません。

長いようで、あっという間の2年間でした。どの子も明るく素直で、伸びようとする真っすぐな気持ちをもった子どもたちばかりでした。友達を大切に、思いやりにあふれ、何事にも誠実に取り組む姿にいつも感心していました。授業中や休み時間の楽しいやりとりや、行事に向かって一生懸命に取り組む姿、他愛のない話題でクラス中で大笑いした日々などが懐かしく思い出されます。子どもたちとの充実した毎日、楽しい思い出は、私にとってかけがえのない宝物です。どんなときも、陰となり日向となって子どもたちを支えてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

20人の子どもたちとの出会いに感謝し、これまでご理解とご協力をいただいた保護者の皆様に感謝し、最後の学年だよりとさせていただきます。



**今までありがとうございました！子どもたちの更なる活躍を楽しみにしています！！**

